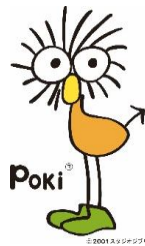


令和8年第2回市議会定例会前の記者会見

【日時】 令和8年6月2日(火)午前10時から

【場所】 三鷹市役所3階 議場棟 協議会室



三鷹市

目 次

	ページ
1 災害対策用トイレカーの導入 ～ふるさと納税を活用したクラウドファンディングの実施～	1
2 市立小学校児童への保冷剤付き背当てパッドの配布	2
3 物価高騰対策支援の実施 ～保育施設等光熱費、公衆浴場燃料費～	3
4 地区公会堂をクーリングシェルターとして開放 ～町会・学生との連携による、涼しい親子遊びスペースの提供～	4
5 海外都市との交流と平和事業の展開	5
6 北野エリアにおけるA I デマンド交通実証運行の実施	6
7 観光案内・交流スペース「みたか観光BASE」の開設 ～既存施設と連携した交流機能と特産品販売の強化～	7
8 「ヒヤリハットシステム」を活用した交通安全事業の推進 ～企業・学校・地域で取り組む交通安全教育～	8
9 大学等進学応援金の支給	9
10 企画展「没後20年・太宰治賞受賞60年 三鷹の作家・吉村昭と 田野畑村」及び周年事業の実施	10

1 災害対策用トイレカーの導入

～ふるさと納税を活用したクラウドファンディングの実施～

1 事業の目的、背景

災害時における避難生活の衛生環境の向上及びトイレの確保を図るため、自走式のトイレカーの導入に向けて取り組みます。なお、導入に当たっては、東京都の「避難者生活支援等に関する区市町村支援補助金」を活用するとともに、防災意識の醸成とトイレカーのPRを兼ね、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを実施します。

2 事業の内容

(1) トイレカーの機能

- ア 洋式便器 4基（男女各2基）
- イ 小便器 1基
- ウ 多機能トイレ 1箇所（車いす用リフター付き）

(2) 運用方法

- ア 避難所等における早期のトイレ設置
- イ 他自治体（姉妹・友好市町村等）への派遣
- ウ 総合防災訓練や防災イベント等での活用

(3) 納期予定日

令和9年7月30日（金）

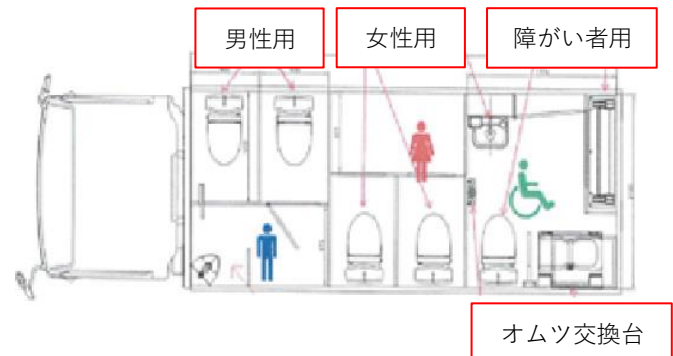
※特殊車両のため、納期は令和9年度になります。

(4) クラウドファンディングの実施

- ア 実施期間（予定）
令和8年7月～令和9年3月
- イ 目標金額
5,000千円
- ウ 特典

一定額以上の寄付をいただいた方は、希望により車両（背面）に氏名・団体名を掲載します。
※寄付金の金額に応じて文字のサイズ等を調整。

■ トイレカーのイメージ



3 経費

【歳出】 災害対策用トイレカー購入費（令和9年度〈債務負担分〉）	33,385千円
【歳入】 都支出金（※令和9年度計上予定）	16,000千円
寄付金	5,000千円

【担当】 防災安全部防災課 電話：0422-24-9102

2 市立小学校児童への保冷剤付き背当てパッドの配布

1 事業の目的、背景

三鷹市では、夏季の登下校時における児童の身体的負担の軽減や熱中症の予防を図るため、市立小学校の全児童を対象に、ランドセル用に開発された保冷剤付き背当てパッドを配布します。

併せて、下校時にも保冷剤が利用できるよう、市立小学校 15 校に冷凍庫を設置します（1 クラスにつき 1 台、計 326 台）。

2 事業の内容

(1) 対象者

市立小学校 15 校に在籍する児童 9,203 人（令和 8 年 5 月 1 日現在）

(2) 保冷剤付き背当てパッドの仕様

株式会社セイバン製「ひんやり背あてパッド」（軽量保冷剤付き）

横 24.5cm×縦 25.5cm（保冷剤サイズ 横 9.5cm×縦 20.5cm×厚み 0.8cm）

(3) 次年度以降の取り組み

新小学 1 年生に一人 1 個配布

(4) その他

背当てパッドは配布とし卒業時の返還は求めません。

配布は一人 1 回限りとし、紛失や破損等による買い替えは各家庭の負担とします。

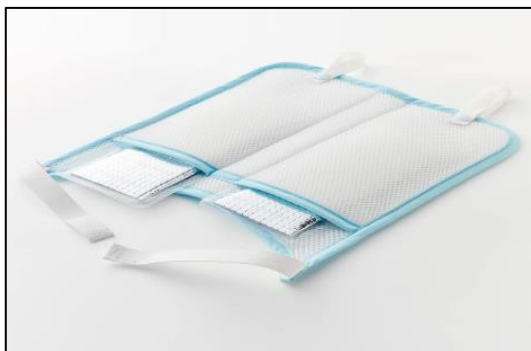
3 スケジュール（予定）

令和 8 年 6 月 背当てパッドの買入れに係る議案提出

7 月 配布実施

4 経費

【歳出】学校管理運営費	37,956 千円
うち背当てパッド購入費	21,653,207 円



保冷剤収納イメージ



背当てパッド装着イメージ

【担当】 教育部学務課 電話：0422-29-9814

3 物価高騰対策支援の実施 ～保育施設等光熱費、公衆浴場燃料費～

1 事業の目的、背景

物価高騰に直面している保育施設等に対して、事業者の負担軽減を図るために、当初予算において東京都の補助制度を活用し、4月～6月分の光熱費高騰分の支援を計上していますが、中東情勢の影響などにより夏以降の料金値上げが見込まれる状況を踏まえ、7月～翌年3月分についても市単独で支援を継続し、安定した施設運営を支援します。

また、物価高騰の影響により厳しい経営状況にある公衆浴場についても、令和7年度に引き続き燃料費への補助を実施し、事業継続と地域住民の生活基盤の維持を図ります。

2 保育施設等への支援

(1) 対象施設

認可保育所（私立）、地域型保育施設、認証保育所、企業主導型保育施設、幼稚園

(2) 給付額

4月～6月分の毎月の光熱費高騰分支援額と同額

(3) 給付対象期間

令和8年7月～令和9年3月分

3 公衆浴場への支援

(1) 対象者

市内公衆浴場（3事業者）

(2) 実施内容

補助対象：令和8年4月～令和9年3月分の都市ガスに係る経費

補助金額：「燃料費の実支出額（月額）※」×「休業期間を差し引いた12か月」

※申請日の属する月またはその直近前月（上限10万円/月）から、東京都からの補助金額を差し引いた額。

(3) 申請時期

令和8年7月、令和9年1月（2回払い）

4 経費（補正予算計上額）

(1) 保育施設等

【歳出】物価高騰対策支援給付金 12,420千円

(2) 公衆浴場

【歳出】公衆浴場燃料費補助金 3,168千円

保育施設等への支援について

【担当】 子ども政策部子ども育成課 電話：0422-29-9672

公衆浴場への支援について

【担当】 生活環境部生活経済課 電話：0422-29-9615

4 地区公会堂をクーリングシェルターとして開放

～町会・学生との連携による、涼しい親子遊びスペースの提供～

1 事業の目的と背景

近年の記録的な猛暑を踏まえ、暑さが本格化する7月～9月に、市では地区公会堂の一つを、クーリングシェルター(指定暑熱避難施設)として開放するモデル事業を実施します。期間中は、ウォーターサーバーを設置し、絵本やおもちゃを置くなど、子どもから高齢者まで安心して涼しく過ごせる場所を整備します。あわせて、施設管理を担う井の頭一丁目町会及び杏林大学公認サークル「asobi 基地・関東学生部@杏林大学」の学生と連携し、子どもたちが安全に夏を楽しめる環境を提供します。地域の安全性を高めるとともに、幅広い世代の方々に地区公会堂や町会主催事業に気軽に足を運んでいただくきっかけとなることを目指します。

2 事業の内容

(1) 対象及び定員

各日先着 30 人程度で、誰でも利用可

(2) 場所

井の頭東部地区公会堂（三鷹市井の頭一丁目
3 番 18 号）

1 階洋室（40 ㎡）、2 階和室（45 ㎡）

(3) 日程及び事業

7 月～9 月の毎週火曜日及び日曜日

ア 毎週火曜日午前 10 時～午後 1 時（3 時間）

⇒第 2・4 火曜日に町会が親子遊び事業を実施

イ 毎週日曜日午前 9 時～午後 5 時（8 時間）

⇒町会が日曜カフェや楽しい講座、水遊びなどのイベントを実施

※日曜日は杏林大学公認サークル「asobi 基地・関東学生部@杏林大学」の学生が、キッズサポーターとして子どもたちの遊びや学びをサポートします。

※イベントは別途定員あり。



井の頭東部地区公会堂（外観）

3 経費（補正予算計上額）

【歳出】地区公会堂管理運営事業費 585 千円

4 その他

- (1) 施設にはクーリングシェルターを示すのぼり旗もしくはタペストリーを掲示します。
- (2) 期間中は、施設に配置する三鷹図書館の約 150 冊の絵本を閲覧できます。また、井の頭一丁目町会と連携し、夏の遊びに適したおもちゃ等を設置します。
- (3) 本事業は、「広報みたか」や市ホームページ、SNS 等の各種広報媒体のほか、井の頭一丁目町会が発行する「町会だより」や SNS で周知します。

【担 当】 生活環境部コミュニティ創生課 電話：0422-29-9611

5 海外都市との交流と平和事業の展開

1 事業の目的、背景

市ではこれまで、三鷹国際交流協会（MISHOP）を中心に、市民レベルでの草の根の国際交流を推進してきました。近年の外国籍市民の増加や国際情勢の流動化を踏まえ、戦後 80 年の節目を契機に、国際交流を平和事業の一環として位置付け、海外都市との交流を進めます。

また、令和 7 年度に実施した「中学生長崎市平和交流派遣事業」を継続実施するとともに、8 月の平和強調月間に開催している「みたか平和のつどい」や「平和展」などを通じ、地域における平和文化の振興を図っていきます。

2 海外都市との交流

令和 7 年 5 月にカリフォルニア州ラ・カニャーダ・フリントリッジ市から書簡が届き、同年 10 月には市長が私的に来訪し、同市から姉妹都市提携及び交流に関する申出がありました。これを受けて、令和 8 年 7 月に市の特別職職員等 4 名を現地へ派遣し、視察及び交流に向けた実務協議を行います。協議を踏まえ、9 月の市議会定例会での姉妹都市提携の議案提出に向けて、調整を進める予定です。なお、本事業は平和事業の一環として実施するもので、異なる文化を相互に理解することで、市民一人ひとりが国際的な視野を広げ、互いの立場を尊重し、平和的共存への理解を深めていきます。

【交流プログラム案】

- ・教育委員会、学校と連携した未来を担う子どもたちの交流
- ・MISHOP と連携した市民レベルでの草の根の交流

3 平和事業の展開

(1) 中学生長崎市平和交流派遣事業

市内の中学生 16 人を長崎市に派遣し、現地の中学生との交流や平和関連施設の視察等を通じて、恒久平和について学び、その成果を広く市民に伝えます。

派遣日程：令和 8 年 7 月 29 日～31 日

報告会：令和 8 年 11 月 29 日（予定）

(2) みたか平和のつどい

「戦没者追悼式並びに平和祈念式典」及び平和アニメ上映会（『ぞう列車がやってきた』）を実施します。式典では、代表献花や戦争体験談、黙とうのほか、長崎市平和交流派遣事業の中間報告や市内小学校等によるコーラスを行います。

(3) 平和展

8 月の平和強調月間の期間中、市役所 1 階市民ホールにおいて、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えるきっかけを提供することを目的とした「平和展」を実施します。

メイン展示：原爆がもたらしたもの－写真が語る長崎の被災－

サブ展示：核兵器と戦争に関する 16 の問い展



長崎原爆資料館見学の様子
（昨年度の中学生派遣事業）

【担当】 企画部平和人権課 電話：0422-29-9032

6 北野エリアにおけるA I デマンド交通実証運行の実施

1 事業の目的、背景

市では、誰もが快適に移動できる環境の実現に向け、路線バスやコミュニティバス、A I デマンド交通等の多様な交通手段の役割分担による持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組んでいます。

このたび、みたかシティバス北野ルートの見直しに伴い、柔軟性の高い運行により交通不便地域の面的な解消が期待できる「A I デマンド交通」の実証運行を、令和8年10月1日(木)から北野エリアで開始します。

※市では現在、西部・井の頭エリアでA I デマンド交通を本格運行中。



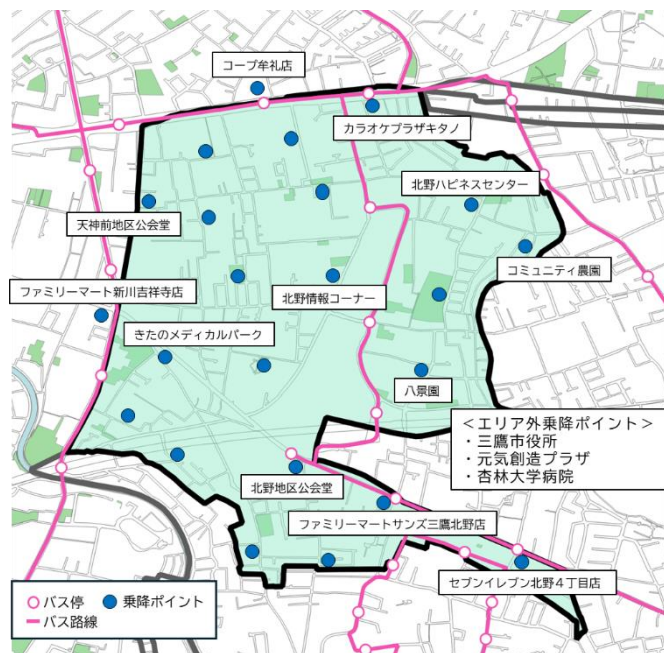
運行車両イメージ

2 運行概要(案) ※令和8年5月時点

運行日	月～土曜日(祝日・年末年始は運休) ※日曜日・祝日に臨時運行の場合あり
運行エリア 乗降ポイント	北野エリア内+一部エリア外 全26箇所
運行車両	1台(旅客定員6名・ユニバーサルデザイン車両)
運賃	エリア内100円、エリア外300円 ※高齢者、障がい者、子育て世帯はエリア外割引運賃あり
予約方法	スマホアプリ、電話
支払方法	現金、交通系ICカード、みたか地域ポイント
実証運行期間	1年間(期間終了後、本格運行を目指す)

■運行エリア・乗降ポイントの設定

地域内交通としての役割を基本とするため、北野地域内を運行エリアとします。乗降ポイントは、スーパー、コンビニ等の商業施設や医療施設、コミュニティ施設等を中心に、概ね「100mに1箇所」を目安に設定します。また、これまでのみたかシティバス北野ルートの運行ルート等も考慮し、エリア外乗降ポイントも設定します。



運行エリアと乗降ポイント(案)

3 経費(当初予算計上額)

- 【歳出】コミュニティバス関係費
16,966千円
- 【歳入】都支出金
9,900千円

【担当】 都市再生部都市交通課 電話：0422-29-9709

7 観光案内・交流スペース「みたか観光 BASE」の開設

～既存施設と連携した交流機能と特産品販売の強化～

1 事業の目的、背景

市ではこれまで、三鷹駅前協同ビルに設置している「みたか観光案内所」を中心に都市観光を推進してきました。このたび開設する「みたか観光 BASE」は、既存の観光案内所と連携し、その機能を補完・強化する新たな拠点です。交流機能の充実と販売商品の強化等により、人と地域をつなぐ観光の魅力を高め、にぎわいの創出と持続的な観光振興を図ります。

2 開設施設の概要

- (1) 名称 みたか観光 BASE
- (2) 所在地 三鷹市下連雀三丁目 24 番 3 号 三鷹駅前協同ビル 105 区画
- (3) 面積（壁芯） 61.28 m²
- (4) 開設日 令和 8 年 6 月 28 日（日）
- (5) 運営 特定非営利活動法人みたか都市観光協会

3 各施設の機能

- (1) みたか観光 BASE（三鷹駅前協同ビル 105 区画・建物南側）
 - ・「交流スペース」を活用した交流・連携（ミニ講座や体験会などの実施を予定）
 - ・三鷹ゆかりのコンテンツなどの展示・情報発信
 - ・観光協会事務所機能の充実
- (2) みたか観光案内所（三鷹駅前協同ビル 101 区画・建物北側）
 - ・三鷹ゆかりの商品やキャラクターグッズ、姉妹・友好市町村の特産品の販売
 - ・観光関連施設のチケット販売、来訪者の案内対応

4 オープニング記念事業の開催

開設日前日の 6 月 27 日（土）に、地域へお披露目するオープニング記念事業を開催します。

- (1) 式典（招待者のみで開催）
午前 10 時～10 時 20 分（三鷹ネットワーク大学<同ビル 3 階>）
- (2) 内覧会（どなたでも来場可）
午前 10 時 30 分～午後 3 時 みたか観光 BASE
【主な内容】観光関連動画の上映、Poki 4 コマまんがコンテスト入賞作品の展示 など

5 経費（当初予算計上額）

【歳出】観光振興推進事業費 16,656 千円



現案内所との位置関係



みたか観光 BASE の外観

【担当】 生活環境部生活経済課 電話：0422-29-9615

8 「ヒヤリハットシステム」を活用した交通安全事業の推進

～企業・学校・地域で取り組む交通安全教育～

1 事業の目的、背景

市では令和7年度に、株式会社 SUBARU 等の連携事業者と協力し、交通安全意識の醸成を目的として、小学5年生のヒヤリハット（もう少しで事故になりそうだった事象）をまとめた「ヒヤリハット体験マップ」を作成しました。

8年度は対象者を拡充するとともに、モデル校において連携事業者による出張授業を行い、交通安全意識のさらなる向上を図ります。

2 ヒヤリハット体験調査・マップの更新、対象者の拡充

昨年度、市立小学校 15 校の5年生を対象に実施したヒヤリハット体験調査に、市立小学校の全児童、保護者及び交通安全対策地区委員が参加できるよう、対象者を拡充します。これにより収集データを充実させ、各学区における交通上の危険・注意箇所をマップに反映します。また、対象者の拡大により、地域全体の交通安全意識の向上が期待されます。







授業の様子

3 連携事業者によるモデル校への出張授業の実施

連携事業者がモデル校7校（二小、三小、四小、七小、中原小、北野小、羽沢小）の2・5年生を対象に出張授業による交通安全教育を行います（「高学年（5年生）から低学年（2年生）に教えるプログラム（ア～ウ）」）。

出張授業を通して、児童自ら安全行動ができるよう行動変化を促します。

ア 出張授業1回目	イ 出張授業2回目	ウ 出張授業3回目
高学年児童へインプット	高学年児童のアウトプット	高学年児童へのインプット
低学年児童へのインプット 高学年児童のアウトプット		
 <p>5年生がヒヤリハット体験を入力</p>	 <p>5年生が危険な場所・取るべき行動を考える</p>	 <p>5年生が2年生への教え方のレクチャーを受ける</p>
		 <p>5年生から2年生へ教え行動の変化を促す</p>

4 スケジュール

令和8年5月	児童・保護者、交通安全対策地区委員会への通知
5月～6月	ヒヤリハット体験の入力、 <u>モデル校での出張授業の実施（1回目）</u>
6月～7月	データ分析、ヒヤリハットマップ作成（連携事業者）
8月	学校・地域等で実施する通学路点検の検証に活用。必要に応じて事故防止策を検討・実施
2学期	ヒヤリハットマップを活用した交通安全授業を実施 <u>モデル校での出張授業の実施（2、3回目）</u>

【担当】 防災安全部安全安心課 電話：0422-45-1116

9 大学等進学応援金の支給

1 事業の目的、背景

三鷹市では、令和8年度から、大学等に入学した方に、世帯の経済状況に応じて「大学等進学応援金」を支給します。これにより、修学に係る経済的負担の軽減を図り、若者の学びを応援します。

2 事業の内容

(1) 支給金額

10万円 ※1人1回限り、入学年度に限り申請可能

(2) 支給要件

- ア 一定の要件を満たした大学、短期大学及び専門学校（大学等における修学の支援に関する法律に規定する確認大学等のうち高等専門学校を除く。）へ進学していること。
- イ 生計維持者（保護者等）が市内に令和8年4月1日時点で6か月以上居住していること。
- ウ 令和7年中の世帯全員の所得金額が、三鷹市就学援助基準額以下であること。
- エ 高等学校等を卒業（修了）後3年以内に大学等へ入学していること。（高等学校卒業程度認定試験に合格した方又は外国の学校教育の課程を修了した方で、大学等へ入学する日までの期間の要件に該当する場合などを含む。）

(3) 特徴

- ア 返還不要の給付型応援金
- イ 学業成績による支給制限なし
- ウ 定員なし（予算の範囲内）
- エ 他の奨学金との併用可能

例：日本学生支援機構の給付型奨学金（入学金支援金額を満額支援の場合）と併用した場合（下表）

	日本学生支援機構 (国の給付型奨学金)	大学等進学応援金 (三鷹市)	合計
国公立大学	28万円	10万円	38万円
私立大学	26万円	10万円	36万円

3 申請方法

三鷹市ホームページからオンラインで申請可能（24時間受付）

4 スケジュール

令和8年4月から 申請受付開始 ※現在受付中
5月～7月 申請内容の確認・要件審査等
8月から 順次支給開始

5 経費

【歳出】大学等進学応援金関係費 10,192千円

【担当】 教育部学務課 電話：0422-29-9814

10 企画展「没後 20 年・太宰治賞受賞 60 年 三鷹の作家・吉村昭と 田野畑村」及び周年事業の実施

1 事業の目的、主旨

令和 8（2026）年は、三鷹で作家人生を送った文学者・吉村昭氏の没後 20 年、また、吉村氏が昭和 41（1966）年に岩手県下閉伊郡田野畑村を舞台とした作品「星への旅」で太宰治賞を受賞してから 60 年の節目に当たります。そこで、改めてその功績を顕彰するため、（公財）三鷹市スポーツと文化財団と協働し、企画展を開催し、作品と深いつながりのある岩手県田野畑村との連携事業を実施します。

2 事業の概要

(1) 企画展「没後 20 年・太宰治賞受賞 60 年 三鷹の作家・吉村昭と田野畑村」

本展では、「星への旅」のほか、「海の壁 三陸海岸大津波」（のち「三陸海岸大津波」に改題）、「幕府軍艦『回天』始末」、「梅の蕾」等の小説や関連エッセイの紹介をします。また、田野畑村の協力のもと、これまで未公開であった岩手県田野畑村教育委員会蔵「幕府軍艦『回天』始末」の直筆原稿を初公開します。さらに、太宰治賞受賞記念パーティーの芳名録や吉村氏の妻で作家の津村節子氏が吉村氏と田野畑村で過ごした思い出が綴られた、「三陸の海」の直筆原稿等も展示予定です。

ア 会場

三鷹市吉村昭書斎（三鷹市井の頭三丁目 3 番 17 号）

イ 期間

令和 8 年 7 月 23 日（木）～令和 9 年 1 月 11 日（月・祝）

ウ 主な展示予定資料

- ・ 吉村昭直筆原稿「幕府軍艦『回天』始末」（岩手県田野畑村教育委員会蔵、初公開）
- ・ 太宰治賞受賞パーティー芳名録（複製）
- ・ 雑誌「展望」昭和 41 年 8 月号（「星への旅」所収）
- ・ 津村節子直筆原稿「三陸の海」（津村節子蔵）



鶉の巣断崖（岩手県田野畑村）

(2) 田野畑村訪問事業

太宰治賞受賞作品「星への旅」の舞台となり、吉村氏にとって特別な場所である岩手県田野畑村を訪問します。

ア 期間

令和 8 年 9 月 26 日（土）～27 日（日）

イ 内容

「星への旅」の着想を得た鶉の巣断崖や吉村昭文学碑、津村節子詩碑など、吉村昭氏ゆかりの足跡をめぐる 1 泊 2 日の訪問事業

ウ 人数

20 人（予定）

3 経費（当初予算計上額）

【歳出】 芸術文化施設管理関係費、芸術文学者顕彰事業費	6,428 千円
うち企画展事業費	1,913 千円
田野畑村訪問事業費	2,238 千円

【担当】 スポーツと文化部芸術文化課 電話：0422-29-9861